



平成25年10月台風26号による 烏・神流川流域の出水状況

[10月21日速報]

国土交通省関東地方整備局
高崎河川国道事務所

烏・神流川流域の出水状況(概要)

(概要)

烏川・神流川流域では、台風26号の影響により10月15日昼頃から雨が降り始め、多いところでは150mmを超える降雨となりました。高崎河川国道事務所では、台風の接近による降雨の影響に伴い、管内の水位観測所において水位上昇が見込まれることから、15日夕方には風水害対策支部(河川)を設置(注意体制)し、気象情報の収集と河川の水位観測及び河川の監視を行いました。

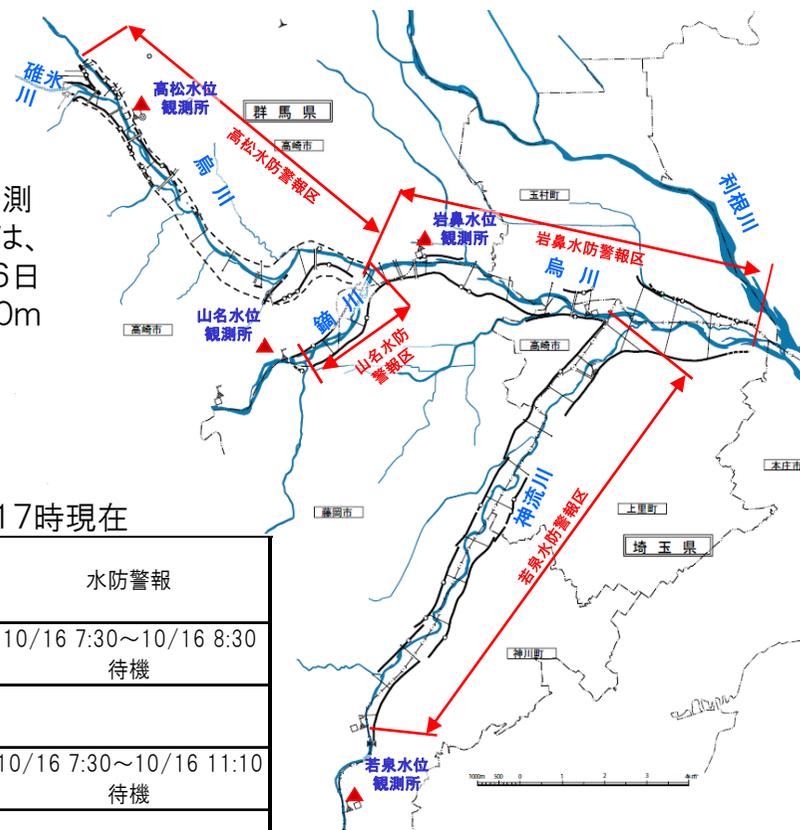
10月16日7時10分に烏川の高松水位観測所の水位が、7時20分に鍬川の山名水位観測所の水位が、それぞれ水防団待機水位を超えたことから、関係水防団体へ待機を要請しました。

その後、10月16日11時00分には、全ての水位基準観測所において、水位が水防団待機水位を下回ったことから、出水の危険がなくなったため、10月16日11時10分に「注意体制」を解除しました。

(各河川の状況)

16日7時10分に烏川高松水位観測所で、7時20分に鍬川山名水位観測所で、それぞれ「水防団待機水位(レベル1)」を超えました。各河川の水位は、烏川(高松水位)1.60m(16日7時10分)、鍬川(山名水位)2.38m(16日8時50分)、岩鼻水位0.48m(16日8時40分)神流川(若泉水位)0.90m(16日7時50分)を観測しました。

16日11時00分には全ての河川で水防団待機水位以下となりました。今回の出水による管内の河川管理施設には被災はありませんでした。



台風26号による河川の概要 10月18日 17時現在

河川名	基準観測所	最高水位 (m)	水防団待機水位 (m)	はん濫注意水位 (m)	避難判断水位 (m)	はん濫危険水位 (m)	連続降雨量 (速報値)	体制	水防警報
烏川	高松	1.60	1.60	3.60	3.70	4.00	碓氷川流域 95mm	警戒体制	10/16 7:30~10/16 8:30 待機
烏川	岩鼻	0.48	1.00	3.30	3.40	4.00	烏川流域 89mm		10/16 7:30~10/16 11:10 待機
鍬川	山名	2.38	2.20	2.60	5.30	6.20	鍬川流域 118mm		
神流川	若泉	0.90	2.00	3.00	5.00	6.20	神流川流域 135mm		

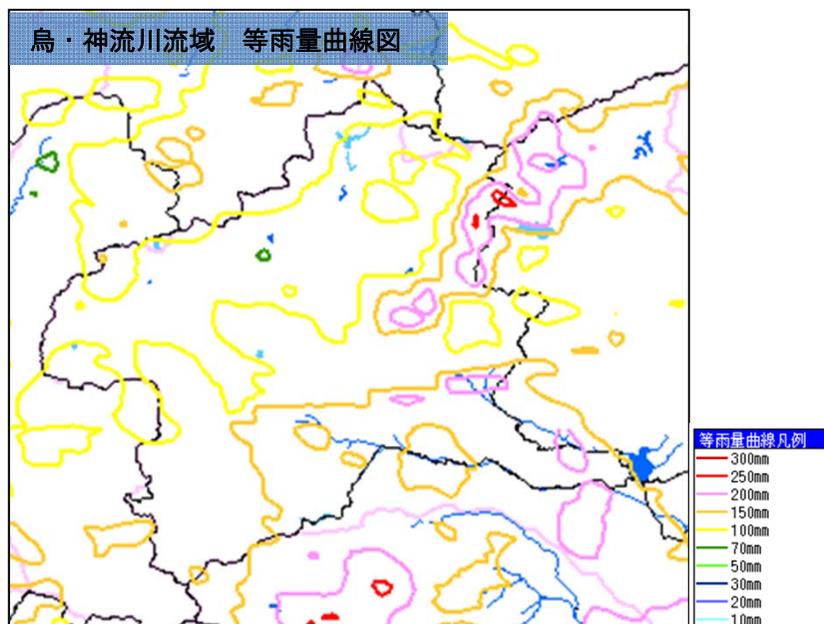
※【注意】水位、雨量の値は速報値であり、観測値の精査後変更する可能性があります。

烏・神流川流域の降雨状況

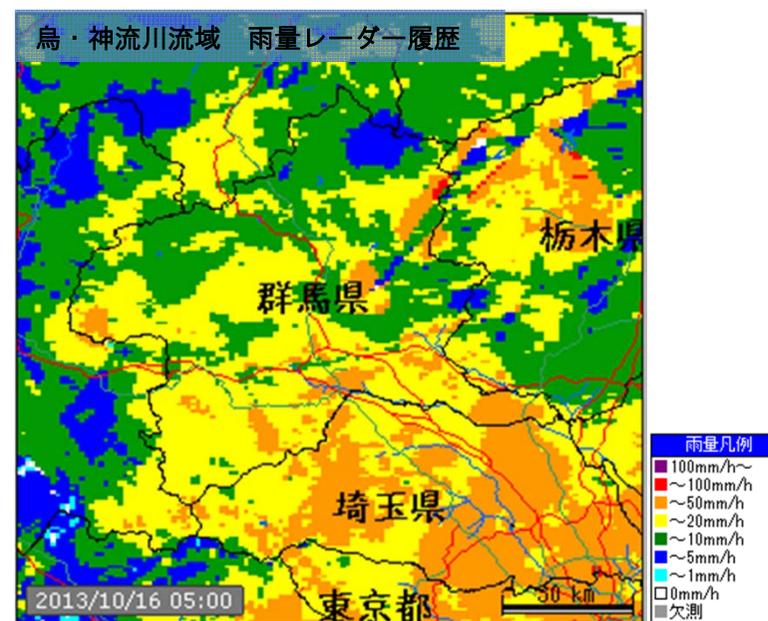
烏川・神流川流域では、台風26号の影響により10月15日昼頃から雨が降り始め、台風の接近に伴い、17日午前にかけて断続的に強い雨が降りました。[最大時間雨量は下久保雨量観測所((独)水資源機構下久保ダム管理所所管)16日5時23mm/h]

降り始め(10月15日11時)から16日9時までの連続雨量は、烏川流域で89mm、碓氷川流域で95mm、鍬川流域で118mm、神流川流域で135mmを観測しました。

主な観測所の連続雨量は、神流川流域の下久保雨量観測所:157mm、万場雨量観測所:136mm、三岐雨量観測所:127mm、鍬川流域の箕輪雨量観測所:146mm、小幡雨量観測所:124mm、奥ノ萱雨量観測所:123mm、烏川流域の岩鼻雨量観測所:127mmでした。



10月15日11時～10月16日9時の等雨量曲線図



流域最大雨量時(10月16日 5時00分)

※【注意】水位、雨量の値は速報値であり、観測値の精査後変更する可能性があります。

烏・神流川流域 各河川の出水状況

高松水位観測所(烏川)



岩鼻水位観測所(烏川)



山名水位観測所(鍬川)



若泉水位観測所(神流川)

